



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和58年1月1日現在)

人口 21,424 (+68)

男 10,597 (+34)

女 10,827 (+34)

世帯数 6,360 (+18)

—人のうごき (12月中)—

転入 115人 転出 72人

出生 32人 死亡 7人

||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



58年

2

No.373

おもな内容

- おめでとう 成人.....2
- 老人保健制度 本格的な高齢化社会に備えて...3
- 税の納入はお済みですか.....4
- 第1回まくべつ冬まつり 2月20日に開催.....5
- スポーツひろば.....5
- まちのニュース.....6
- 健康カルテ⑩ 貧血症.....6
- 短歌あゆみ会 12月詠草.....7
- ふるさと館ニュース⑨.....8

歩くスキー講習会が開かれる

歩くスキー講習会を1月9日午前10時から開催。この日は男女40人が参加し、町民会館で映画会、技術講義があり、そのあと運動公園では、実技講習会がありました。歩くスキーは、若い人からお年寄りまでできるスポーツとして、愛好者が増えています。健康のため、あなたも歩いてみませんか。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

おめでとろう 成人

二百五十一人がおとなの仲間入り

ことし成人を迎えたかたは、昨年より十六人多い二百五十一人(男・百八人、女・百四十三人)です。

一月十五日の成人式には、百九十八人が出席し、町民会館で午前十時三十分から始まりました。全



198人が出席した成人式

員で記念撮影のあと、二階ホールで若人の広場をつくり、成人者の中から選ばれた「女神」が希望の火を持って入場。この火は四人の成人代表に分けられ、一つひとつが父親、母親、友人の愛情であるとい

う設定です。暗い会場にスポットライトを浴びた日本舞踊が浮かんだあと、大石町長、山田議長から祝辞、母親代表からのお祝いの言葉もあり、送別の中村政昭さんが答辞を述べました。最後に交流会が行われ、成人者一人ひとりが全員と握手を交し合い、シャンペンで乾杯をし、式典を終わりました。成人者全員に交通安全のしおりが配られ、交通安全を確認しました。



女神から成人者へ希望の火を点火



母親代表のお祝いの言葉



成人になったの抱負を話してもらいました



全員で町歌を斉唱



一人ひとりと握手をして交流を深めました

地域社会の発展に貢献

成人者代表 中村政昭さん (答辞)



本日、この良き日に、多くのご来賓参列のもとに、私どものために、意義深い成人式を挙行され、お祝いをいただきましたことは、まことに感謝に堪えません。

私たちは、何分にもまだ実社会に足を踏み入れたばかりの若輩で、至らないことも多いと思いますが、町長をはじめ、ご来賓の皆様よりいただいた、数多くのご訓辞を肝に銘じて、多くの社会的課題に積極的に取り組む決意であります。

今日よりは新たに、立派な成人者として、地域社会の発展に貢献するよう努めていく覚悟でありますので、今後とも未熟な私たちに対し、暖かいご指導、ごべんたつをいただきますようお願い申し上げます。まことに簡単ではありますが、成人式にあたっての謝辞といたします。

昭和五十八年一月十五日

今日一日からスタート

老人保健制度

本格的な 高齢化社会に備えて

今月1日から、老人保健法が施行され、70歳(寝たきりのかたなどは65歳)以上の人が病気やけがをしたときの療養費の給付と、40歳以上の人を対象に健康診査などの保健事業が行われることになりました。

そこで、老人保健制度について、ぜひ知っておいていただきたい点をまとめてみました。

七十歳以上は 老人保健で

●療養の対象者

老人保健の医療は、七十歳以上の加入者および、六十五歳以上七十歳未満で寝たきりなどの状態にある医療保健の加入者が対象となります。これは、今までの老人医療費無料化の対象とおおむね同じですが、所得制限はありません。

●資格

療養の給付は老人保健制度から給付が行われますが、その他の点では従来の医療保険が適用されます。従って、医療保険への加入資格はそのままで、現在の被保険者、被扶養者の資格に変わりはなく、傷病手当金や葬祭費などの現金給付は医療保険から支給されます。

●保険料

従来どおり、ご自分の加入している保険へ納付することになります。

●健康手帳の交付

医療は七十歳の誕生日または、寝



健康手帳と医療受給者証

たきりなどの状態にある旨の認定を受けた翌月(認定を受けた日が月の初日である場合はその月)から開始されます。

今までの老人医療費受給者証の代わりに、健康手帳が交付されます。これは医療の受給資格を証明し、医療と日常の健康管理に役立たせるために健康診査などの結果を記録するものです。医療を受ける場合には、この健康手帳に保険証を添えて提示することになります。

●医療の給付

老人保険の医療は、健康保険や国民健康保険を取り扱っている病院、診療所または医師の処方せんにより医薬品を販売、授与する薬局で受けることができます。

●費用の一部負担

外来(通院)の場合、一カ月あたり四百円をその月の最初の受診時に負担することになっています。入院の場合には、二カ月間に限って一日三百円の負担があります。

四十歳以上を対象 に保健事業

●保健事業の概要

健康に老後を過ごすには、壮年期から病気の予防を心掛け、健康管理に気を配らなければなりません。

保健事業では健康づくりのためさまざまな啓もうや検診が行われます。この事業の対象者は四十歳

以上のかたです。

●保健事業の内容

- ①健康診査の受診者に健康手帳が交付され、その結果を記録することにより健康づくりと健康管理ができます。
- ②健康教育が行われます。
- ③健康相談が行われます。
- ④循環器を中心とした、年一回の健康診査が行われます。
- ⑤脳卒中などの後遺症でからだの不自由な人に対して、機能の維持、回復と日常生活の自立を助けるために、機能訓練が行われます。

⑥在宅で寝たきりの人などに対して、保健婦などによる訪問指導が行われます。

保健事業に要する費用は、健康診査の実費の一部を受診者が負担するほか、国・道・町で各三分の一を負担することになっています。

本町の 老人医療費は

老人保健法は二月一日から施行されますが、本町の老人医療費の助成制度が、一月二十五日の臨時町議会で決まりましたので、お知らせします。

今までは医療費の本人負担分を、六十八歳、六十九歳のかたは全額を町で、七十歳(寝たきりのかたは六十五歳)以上のかたは国の基準により、国と道と町で、また、六十五歳から六十九歳の単身あるいは、老人夫婦のみの世帯で、他の一定

の条件を満たしているかたは、道の基準により町と道で、それぞれ負担していただきました。

今回の改正により、右記のかたは、通院の時に医療機関ごとに、月の最初の受診日に四百円、入院の時は二カ月間に限って、一日三百円の一部負担金を医療機関の窓口を支払っていただくことになりました。ただし、入院の一部負担金に限り、全額を町独自で助成することになりました。手続きは、入院の場合に医療機関から医療費一部負担金の領収書を受け取り、印鑑、受給者証とともに役場民生課、支所、出張所の窓口へ請求することになります。

なお、ご不明なことがありましたら、民生課へお尋ねください。

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています



●たばこは町内で買います。

税の納入はお済みですか

未納のかたはお早めに――

昭和五十七年度は、生活環境の整備と教育施設の建設を柱に、魅力ある地域づくりを進めてきました。行われた主な事業では、白人小学校建築、途別小学校建築、札

内北小学校増築、糠内コミュニティセンター、幕別温泉浴場新築幹線、線町道の整備、下水道事業などで、町民のみなさんの身近なところから、積極的に取り組んでいます。このように、住みよいマチづくりに使われるお金は、国や道から

の補助金や交付金のほかは、すべて町民のみなさんからの税金で賄われています。町民のみなさんに納めていただいているお金(町税)は、町民税、固定資産税、軽自動車税などがあり、マチづくりに使われるお金(町財政)の全体の二三・九%を占めています。また、町税は自主財源(町が自由に使えるお金)として町財政運営の中で大きな役割を果たしています。

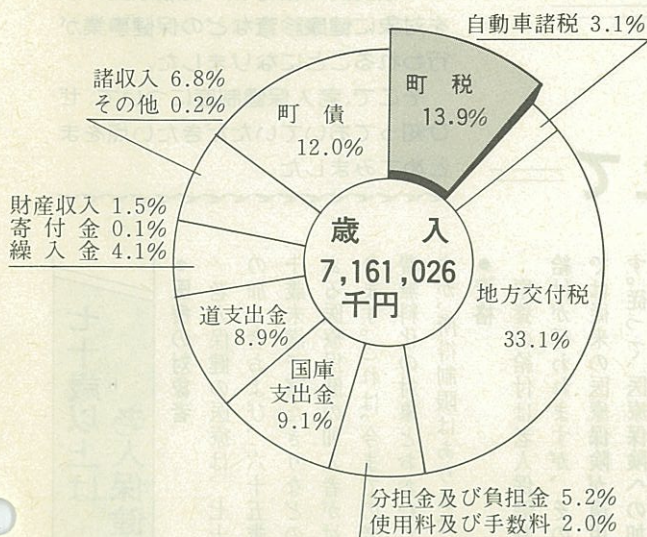
ところが、その町税が最終納期(五十七年十二月二十五日)を過ぎても全体で六%が未納となっており、町財政運営に大きな問題となつていきます。"マチづくり"は町民みんなの力で進めていくものです。よりよい

生活環境をつくるため、まだ、町税を納められていないかたは、至急納められるようお願いいたします。最終納期の十二月二十五日現在の主な町税の納入状況はつぎのとおりです。

- 個人町民税 九五・六%
- 固定資産税 九六・〇%
- 軽自動車税 九八・七%
- 国民健康保険税 九二・〇%

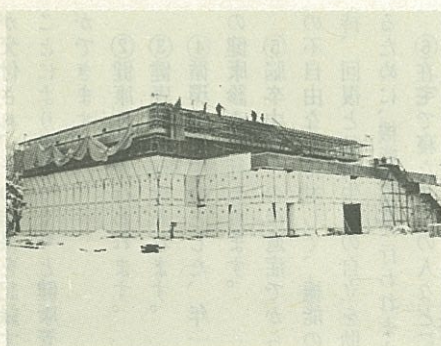
特に、みなさんの健康を守る国民健康保険税の未納が多いことは、町財政運営と国民健康保険の運営に大きな支障をきたしています。

ニテイー活動の場として利用され、また、豊かで明るく活力のある地域社会をつくることに重要な施設になることでしょう。トレーニンングセンターは基礎工



農業者トレセン 9月末日に完成

農業者トレーニンングセンターが、昨年の七月から着工し、二年計画で今年の九月末日に完成することになっていきます。このセンターは、農業関係の補助で、新構造改善事業のひとつとして建設しているもので、場所は幕別小学校の跡地、町



建設中の農業者トレセン

立幼稚園の北側(錦町九八番地)総事業費四億七千万三千円、鉄筋コンクリート二階建て、総面積二千六百平方、主室は千六十一平方のアーリーナ(競技場)トレーニング室、研修室などがあります。みなさんの体力づくりとコミュニ

事も終え、雄大な外観が見えました。九月末日の完成が待ち遠しいものです。

所得税の確定申告は、正しく、お早めに

期限は2月16日から3月15日まで

申告期限は3月15日までで、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかったり、長時間お待ちいただくようなことがあ

りますので、確定申告はできるだけ早く行うようにしてください。なお、還付申告は確定申告前であっても、役場税務課でも受付しています。

第1回まくべつ冬まつり

雪と氷を楽しもう

2月20日に開催

「雪と氷を楽しもう」と第一回まくべつ冬まつりを二月二十日(日曜日)に開催します。会場は幕別運動公園で、多くのかたの参加と見学をお願いいたします。

第一回まくべつ冬まつりが、町、教育委員会、商工会、観光協会、体育連盟、青年団体連絡協議会が主体になって開催することになりました。



糠内中学校の選手たち

全道中学生スケート大会が行われる

第十三回全道中学生スケート大会が、一月十三日に札幌市真駒内

スポーツひろば



した。今まで本町には、全町的な催し物といえば、毎年十月に実施している産業まつりだけでした。冬は、どうしても家に閉じこもりがちなので、屋外に飛び出してみたいきり楽しもうということ、二月二十日(日曜日)午前十時から幕別運動公園で開催。第一回まくべつ冬まつりを盛大にしたいものです。冬まつり会場には、雪像や氷像が見られ、また、雪上カルタ大会、

綱引き、水上人間ばん馬、水上ゲートボール、馬そり試乗会、歩くスキー、滑り台、迷路、宝さがし、カラオケのど自慢、撮影会など、たくさんの内容が計画されています。このほかに売店には、甘酒、牛乳、そばなどの味覚のコーナーもあり、冬の日を楽しく過ごせるように企画していますので、ご家族おそろいでお越しください。なお、詳しく知りたいかたは、教育委員会へご連絡ください。

リンク開きスケート記録会が行われる

スケートリンク開き全町スピードスケート記録会が、十二月二十九日に町営リンクで行われました。成績はつぎのとおり。(一位のみ掲載)

- 男子
 - ▽小一・中山乃(幕小) 庄司光俊
 - (幕小)▽小二・酒井邦昭(明倫小)
 - 松岡政広(明倫小)▽小三・久保基治(札南小)▽小四・中山仁(幕小)小五・久保一幸(札南小)
 - ▽小六・勝見了(糠小)▽中一・竹

第十三回全町スケート選手権大会が行われる

第十三回全町スケート選手権大会が、一月十六日に町営リンクで行われました。成績はつぎのとおり。(総合一位のみ掲載)

- 男子
 - ▽小一・庄司光俊(幕小)▽小二・酒井邦昭(明倫小)▽小三・久保基治(札南小)▽小四・中山仁(幕小)▽小五・久保一幸(札南小)▽小六・勝見了(糠内小)▽中一・若月啓良(幕中)▽中二・大橋修(糠中)▽中三・吉田敏和(糠中)
- 女子
 - ▽小一・長田浩美(駒小)▽小二・藤原郁子(札南小)▽小三・長田恵美(駒小)▽小四・額美佐紀(幕小)▽小五・山田幹恵(糠小)▽小六・小川さおり(白小)▽中一・牧田博恵(糠中)▽中二・佐藤みゆき(幕中)▽中三・竹内洋子(幕中)

全十勝スポーツ少年団卓球大会が行われる

第三回全十勝スポーツ少年団卓球交歓大会が、十二月二十六日に帯広市総合体育館で行われました。大会の成績はつぎのとおりです。

- (男子団体) 小学・③幕別卓球中学・②幕別卓球③札内卓球(女子団体) 小学・①幕別卓球 中学・②幕別卓球(男子個人) 小学・①篠永博子②武田博美③竹村美佐代③額美麻衣子 中学・③石川麻子



幕別卓球スポーツ少年団

第一回北海道小学生卓球大会が、一月九日に札内中学校体育館で行われました。大会の成績はつぎのとおりです。

- (男子団体) ①幕別少年団A(女子団体) ②幕別少年団A(男子個人) ①駒井健一②小串勝美(女子個人) ③篠永博子③武田博美



・消防団出初め式が行われる
恒例の出初め式が、一月七日から九日まで各分団で開催され、団員全員で無火災を願ひ、分列行進が行われました。



まちのニュース



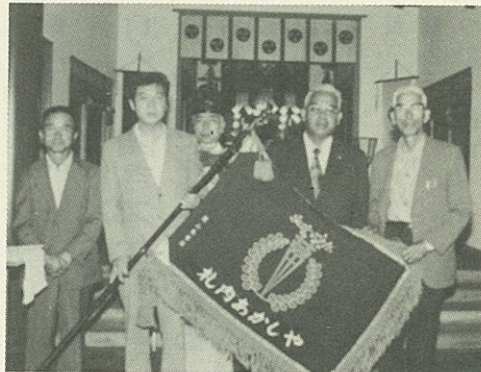
・札栄クラブ新年かるた大会
新年かるた初取会が一月四日、働く婦人の家で、男女三十人が出席して行われました。この日は、各公区子供会にかるたを普及させる指導者として、嶋田啓造会長から、読み方や下の句かるたの由来などの指導がありました。



・南町第2公区でお楽しみ会
公区子供会で、冬休みお楽しみ会を12月26日、鉄南近隣センターで開催。もちつきなどをして楽しみました。



・旭町第二公区に公区旗を寄贈
旭町第二公区に公区旗が、故三川淳さんの父親から寄贈されました。図案は専門家に依頼し、公区で決定したものです。一月十一日入魂式を終え、公区の行事などに使用します。



・あかしや公区に公区旗を寄贈
札内あかしや公区に、公区旗が山角芳信さんから寄贈されました。図案は専門家に依頼、入魂式も済み、公区の行事などに使用します。

健康カルテ

20

貧血症

成人女性の十人に三人は貧血です。近ごろの成人女性に目だつて貧血者が増え、血液が薄くて献血不適合となる人が、成人男子の一〜三%に比べて、女性は三〇%と十倍にもなっています。現代は、食生活も欧米並になり、体格も良くなってきています。しかし、その反面、好きな物ばかり食べたりにして、食事が偏り、栄養欠陥になる人がいます。栄養の質という点で重大な問題があります。その一つに、鉄分不足による貧血があります。

鉄分は、血液中の赤血球のヘモグロビンを形成する主成分です。ヘモグロビンは肺で酸素と結び付き、全身の細胞組織へ運搬する重要な役割をしています。赤血球は古くなると、どんどん壊されて新しくなりますが、食物からの鉄分が不足すると、新たにできる赤血球が小さくなったり、数

が減ってきて、体の細胞は酸素不足になり、体がだるい、めまいがする、頭痛やどろき、息切れなどの症状が現れてきます。特に女性は、月経や出産などのため、いっそう鉄分が不足しがちです。妊娠中の貧血は、胎児の出生にも出生後の発育にも、悪い影響を及ぼします。ヘモグロビンを十分につくるためには、鉄分のほかに、たんぱく質やビタミンも必要です。鉄分の豊富なパランスの良い食事を取り、貧血を予防しましょう。

貧血の原因は、その多くが食生活にあり、特に、長い間の栄養の偏りや不規則な食生活が原因となつていますが、時には、血液の病気や消化管のカイヨウ、ジン臓病、子宮筋シユなどによる場合もありますから、具合の悪いときは、必ず医師に相談しましょう。

■貧血になつたら、特に次のことに気をつけましょう。
・欠食はなによりの大敵ですから、三度の食事は欠かさず取りましょう。

・魚、肉、卵など動物性食品、特にレバーは週一回取りましょう。

・緑黄色野菜も欠かさず、パランスよい食事をしましょう。

早乙女キヨさん亡くなる 町一番の長寿者



101歳の誕生日に思い出を語る早乙女キヨさん(相川の自宅で)

明治十四年十月二十五日に生まれ、町一番の長寿者で、満百一歳の早乙女キヨさんが、一月十日に亡くなられました。キヨさんは、栃木県出身で三十三歳のときに渡道、夫の清四郎さん九年前に他界)と相川地区に住み、農業を営んできました。子供は三男三女の六人で、ひ孫

まで七十三人の子孫がいます。百一歳の誕生日のときには、大石町長も駆けつけ、お祝いと一緒に町が近く発行を予定している古老の話の記録集「幕別風土記」にキヨさんにも登場してもらおうための取材も行われ、数々の思い出をはっきりとした口調で元気に話をしたほど。それが、昨年暮れに体調を崩し、年明けから床に伏したまま、一月十日午前九時半、家族に見守られながら、静かに息を引き取られました。

寄付者のお名前

■町社会福祉協議会へ……

▽清原照吉さん(寿町)から五十二年に火災に遭った時、お世話になりましたと三十万円
▽萩原正雄さん(糠内)から身障者福祉基金へ五万円
▽幕別ライオンズクラブから七万六千六百十七円
▽増子

■老人クラブへ……

▽前川ナツノさん(札内春日町)から札内寿会へ二万円
▽助川毅さん(新川)から明野・新川長寿会へ二万円
▽大岡初五郎さん(古舞)から古舞老人クラブへ二万円
▽田所誠太郎さん(明野)から明野・新川長寿会へ一万円

中村清次さんから 百万円の寄付

中村清次さん(札内桂町)から、町社会福祉協議会へ百万円の寄付がありました。

短歌 あゆみ会 十二月詠草

冷えるしるき風にまじりて降る雨は牛蒡抜く背にしみ通りくる
子の子の来れば三度の菜を気遣いぬ夫と二人の粗食に馴れいて
その夫に朝鮮漬ける娘の指の間より塩はさらさらと落つ
鮭上る猿別川にゆりかもめ川面に一羽浮きて静けし

松田 忠子
坂東 美世
溝口 フミ
安藤 温子
長谷川 勲

「父母の背を見て育ちしに素晴らしい夫婦になれ」との祝辞あり



長尾社協会長に手渡す中村清次さん

お願い

公区・地域・学校などで行事を開催した場合には、簡単な内容写真二種類を町民課広報広聴係までお寄せください。広報まくべつの「まちのニュース」で掲載いたします。



図書目録を手渡すロータリー会の代表(写真左)とライオンズクラブの代表



ライオンズ・クラブから図書寄贈

ライオンズクラブ、ロータリー会からそれぞれ、教育委員会へ十万円相当の図書の寄贈がありました。

ストップ・ザ・交通事故

- 9 -



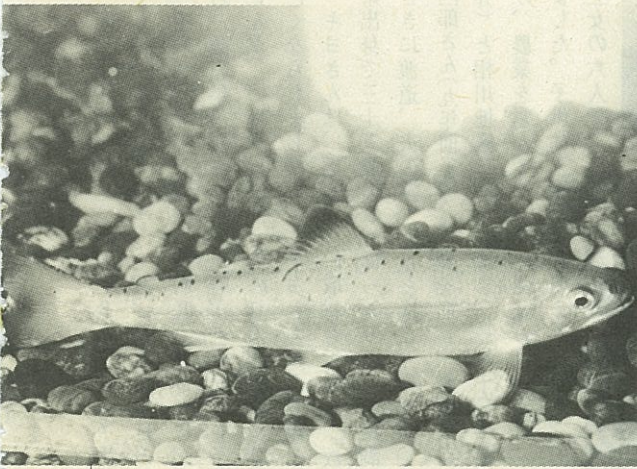
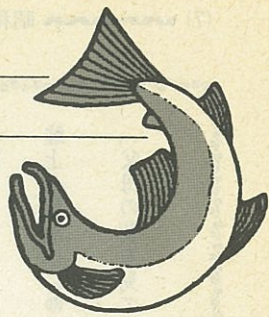
明倫38 | 331
林 豊仁さん

交通事故「ゼロ」を合言葉に……

私の家は農家を営んでいます。今では車を無くしては仕事ができないぐらいまで、自動車社会が発達してきました。今現在、自動車の果たす役割は非常に大きいと思うのです。その反面、交通事故は年々増加傾向をたどっています。

それでは、なぜ交通事故が起きるのでしょうか。スピードの出し過ぎなど運転者のルール違反、歩行者のマナーの悪さなど数々あります。でも、一人ひとりの自覚のなさ、結局は事故に結びついているのではないのでしょうか。

これからも年々、運転者は多くなると思います。ですから一人ひとりが、交通事故を起こさないんだ、という強い自覚を持ち、交通事故「ゼロ」を合言葉にして、今年こそ明るい一年にしたいものです。



こっちの水は しょっぱいぞ

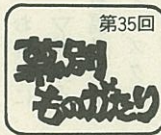
人工海水飼育中間報告

**生存一匹。生後四百二十八日で
体長二十センチ。体重七十グラム。食欲旺盛、いたって健康。**

らべ体長で4倍、重さは二十五倍にもなっていました。生き残った一匹だけが他の稚魚にくらべて、体力が数段優っていたかもしれませぬ。すっかり広くなってしまった水槽を、同居しているニジマス四匹といっしょに泳いでいます。ふるさと館の海は本物の海にくらべると少し甘塩です。濃度は天然海水の約八〇%。

一昨年の十二月一日に卵からかえったサケが、つくられた海(人工海水を入れた水槽)で生存記録を更新中です。

五十匹で始めた人工海水飼育でしたが、昨年暮れに魚病が発生しついに残り一匹になりました。(写真)死んでしまったサケの稚魚で最も大きかったのは体長二十三・五センチ、体重百グラムでした。放流時にく



怒られた鬼ごっこ

思い出の学校①
南勢小学校

糠内道路の西側には、古川や小さな沼がいくつもあつた。そこには、トンギョ・アカハラ・アブラコ(黄色い腹のウグイ)・ヤマベなどが沢山いて、子どもたちには格好の遊び場であつた。東側の高台に雪が積もる冬になると、子どもたちはそれぞれ手製のソリを持ち寄り、斜面を勢いよく滑り、そのスピードを争つた。底に鉄板を打ちつけたソリは、やはり早かつた。又、下駄に鉄を打ちつけてゲロリと呼んだ下駄スケートでも遊んだ。

教室は二教室で、低学年と高学年に分かれ、先生がその二つの教室を行ったり来たりするので自習が多かつた。ある時子どもたちはその自習時間にすぐ前の古川へ遊びに行つて、つい帰るのが遅くな

生存記録は二月一日で四百二十八日になり、「いつでもサケが見られるふるさと館」という目的は達しました。さらに生存記録をどこまで延ばせるかに全力を注ぎたいと思います。隣りの水槽では生後六十日の稚魚二万匹が元気に泳いでいます。一つ違いの兄弟が水槽越しに対面するのも、ふるさと館ならではの事です。

り先生に怒られたことがあつた。欧州大戦(第一次世界大戦)のころは、農村の豆景気比べ、教員の月給が極端に低かつた(豆一俵分)ため先生をさがすのに苦労したようだ。ある時、子どもたちのお金を集めて町へ買い物に行つたままドロンして帰らない先生がいて、代わりの先生を見つけるまで学校を休校にしたこともあつた。

子どもたちは、鬼ごっこが大好きであつた。短い休み時間などを使ってやるのは、今も昔も同じである。ところが、N君とH子さんが6年生の時に、外で他の男女の友達と仲よく一緒に鬼ごっこをしていたら、突然S先生に雷のような大きな声で怒られてしまった。こんな楽しい鬼ごっこは今までにな

サーモン通信 ⑳

サバイバル・スクールが行われる所のすぐそばにある中里小学校は、全校児童11人(写真・上)。1人ずつ観察ノートを持ってみんなでサケを育てています。指先で細かくした餌を与え始め、1月中旬に餌づけに成功しました。広保校長先生の話では「ゆうゆうと泳いでいます」とのこと。たくましく育っているようです。

昨年に続いて2回目の飼育に挑戦している札内南小学校は、理科クラブの子供たちが飼育を担当しています。餌づけを始めましたが、まだ砂利の中にもぐっている稚魚が多く、「本格的に泳ぎ出すまでには、もう少し日数がかかりそう」(安藤校長先生)です。



かつたので、みんなとても残念であつた。
N君とH子さんが通つた大正時代は、男の子と女の子は、手をつないで遊ぶことはもちろんのこと、席を並べることも出来なかつたのである。
(坂下昇氏より取材・小助川 勝義)

昭和45年(1970)3月に廃校となつた南勢小学校はその歴史が古く、現存している学校の幕別小学校(明29、猿別教育所・相川小学校(明30、唎別教育所・白人小学校(明30、白人学校)につくもので、13年前の廃校時に満70歳であつた。この学校に通つた子弟は、当時猿別原野と呼ばれた現在の南勢・西猿別・

軍田などの広い地域で、川西地区からは渡舟でやつてきた。特に学校の置かれた地区は、明治30年(1897)に入植した三重県出身の南勢開拓合資会社の地区であり、その人々の子弟への強い教育の熱意によって設立されたものであつた。
●明治33年(1900) 猿別簡易教育所がコボレ坂上部東側に開かれる。
●明治37年(1904) 児童増加のため校舎が坂の登り口東側に移転。
●明治41年(1908) 猿別教育所と改名。
●大正2年(1913) 猿別尋常小学校と改名。0准訓導無断職務放棄。
●大正5年(1916) 現在地へ校舎移転。
●昭和16年(1941) 猿別国民学校と改名。
●昭和20年(1945) グラマン戦艦機来襲の為休校。南勢国民学校と改名。
●昭和22年(1947) 南勢小学校に改名。
●昭和28年(1953) 本校舎改築落成。

「急募!あと6人。丸木舟製作スタッフ」自作の丸木舟が十勝川に浮かぶ。お問い合わせはふるさと館へ電話で